

自治基本条例検討市民会議

まちづくり瓦版 第1号

2011.7.13

7月13日(水)18時から北上市役所5階会議室で、第1回北上市自治基本条例検討市民会議が開催されました。今回は、市民会議の役割と今後のスケジュールを共有する これまでの北上市のまちづくりへの取り組みの内容とし仕組みを理解する どんな思いをもってそれぞれのメンバーが参加しているかを共有する どんな自治基本条例を今後つくっていくべきか、それぞれの思いを共有する の4つの目標を持って、会議を行いました。

<当日の様子>

開会

企画部長からのあいさつのあと、検討会議の委員一人ひとりに委嘱状が交付されました。



また、全員で自己紹介と会議に期待することを発表し、どんな思いをもってそれぞれのメンバーが参加しているかを共有しました。

情報提供

「本会議の位置づけと今後のスケジュールについて」

政策企画課より、自治基本条例の策定方針と市民会議の役割、検討スケジュール等について説明がありました。

北上市自治基本条例策定方針

策定の目的：平成18年に制定された「まちづくり協働推進条例」を踏まえ、まちづくりの役割分担の根拠となる条例を策定しようとするものです。

策定の内容：

協働のまちづくりを着実に推進し、総合計画に掲げる将来の都市像の実現のため、次のような

内容を盛り込もうとしています。

市民や議会、企業、行政の役割や責務を定義
市民参画の推進のため、参画にあたってのルールを定めることを記載

従来個別の取り組みや条例に依存していた、あるいは定義されていなかった、市民との情報共有や、住民投票やパブリックコメントなどの手続きを定義

政策形成や実施過程、政策評価への市民参画を定義

北上市における自治基本条例の策定イメージ

当市民会議と連携事務局会議が相互に連携しながら、条例案を提案 庁内の自治基本条例検討委員会が条例案を策定 市長が条例案を決定 議会が条例議決という策定イメージです。

検討スケジュール

7月～12月 市民会議 9月まで5回

10月 地域との意見交換会

11月 中間フォーラム開催

パブリックコメント

2012年3月 条例化・地域説明会

情報提供

「これまでの北上市のまちづくりについて」

次にこれまでの北上市のまちづくりについて、また、自治基本条例の意義について情報提供がありました。

北上市の特徴

・さまざまなまちづくり・地域づくりが実践されている

- ・まちづくりを推進するための仕組みがある
- ・まちづくりを推進するための計画がある
- ・地域でも独自の計画のもと、地域づくりを進めている

自治基本条例の意義

自治基本条例とは：

「自治」を担うために、それぞれの役割・責任・権限を明確化し、それを実行するための方法・仕組みを明記したものです。

思いの整理

「どんな自治基本条例になればよいかを考えましょう」

次に、こんな基本条例をつくりたいというキャッチコピーと自治基本条例で解決したいことを各自、A3の紙に書いて発表しました。

全員が発表した後は、これぞ！というキャッチコピーに投票しました。



得票傾向を見てみると・・・

自分に身近で、みんながわかりやすい条例

が条例のキーワードになりそうです。

どんな自治基本条例を今後つくっていくべきか、それぞれの思いを共有し、閉会しました。

【次回会議日程】

7/27(水) 18:00～

市民交流プラザ 会場が変更します。

次回からは、いよいよ本格的な検討に入っていきます。暑い日が続きますが、皆さん体調管理をしっかりと、次回会議もよろしく願います！

<ふりかえりカードより>

- ・少しキンチョ～してのぞみましたが、皆さんの自己紹介でかなりリラックスできました。次回は課のうなぎパーティですが、それをケツてまた参加したいと思います。会議は参加！と学びましたしね。
- ・これまでの北上市の取り組みを振り返り、課題を抽出・整理しながら検討を進められたらよいと思います。
- ・これからの会議が楽しくなる場であったので、これからも積極的に参加したい。菊池氏のパワーポの資料を配ってもらいたい。
- ・広人君の情報提供 にはハラハラしました。しかし、そのような理解が一般的なのかも...と大変勉強になりました。次回以降もこのスタイルだと事務局>メンバーが過ぎるのでは...
- ・いろいろな意見が聞くことが出来て良かった。特に若い女性の意見は最近に聞いたことのない意見でよかった。今後は楽しみ。
- ・ここ 10 年間の北上市の市民参加のまちづくりの経過をあらためてふりかえることができ良かったです。今日のパワーポイントの資料を後で欲しいです。10～12月の日程を早めに教えていただきたいです。できれば皆勤を目指したいので。
- ・自治基本条例を作成検討するにあたって、北上流の形で地域自治、そしてミニ地域自治を目指すのか様々な角度で研究していきたい。
- ・堅苦しいかと思っていましたが、分かりやすく説明していただき、楽しかったです。自治基本条例の策定目的をもう少し分かりやすく教えていただければ...。暑いせいか頭に入っていきません。
- ・自分がいかに知識や考えが足りないのかよく分かった。逆に市民の方々の中にもこのような人は少なくないのではないかと思う。それを武器にして、どうしたら浸透していくのか(例えば協働)考えて、条例策定に関わっていきたい。
- ・市民参加等にふれた市の類似の条例、規程を紹介してほしい。特に都市計画分野など。市内の16センター、地区の地域計画をすべて見たい。
- ・自分には難しい事と思いながら参加して、委嘱させていただきました。勉強しながら皆さんについてゆきたいと思います。

今回の成果：〈どんな自治基本条例を目指したいか〉の共有

“人ごと”じゃなくて“自分ごと”な条例
自分に身近なことだと、人は本気になる。
まちづくりにも、本気になる人を少しずつ
増やしたい。(7票)

わかりやすく市民みんなが理解できる条例
せっかく良い条例をつくったとしても、そ
の内容をみんなが理解し、共有できなけれ
ば意味がない。(7票)

簡素で様々な解釈ができるだけ生じない条例
現在の条例では協働にも多様性がありすぎ
るので。(4票)

基本的事項がわかりやすい条例
条例を身近に感じてほしい(4票)

地域(団体)の特徴を活かした、市民が参画
できる条例
まちづくりは生活環境が重要
市民が必要とし、理解できる内容(3票)

若い人が積極的に参加できる条例
いろいろな立場、年齢の人達が北上市を想
ってまちづくりに参加してもらいたい。(3
票)

地域と地域が手を取りあい、支えあえる条例
地域の事を考えることも大事だけれど、お
っきく市の事を考えていくふところのデ
カい市民がたくさんいるとイイから。(3票)

誰にとっても分かりやすくまちづくりがよ
り発展していくような条例
より良いまちづくりにはプレーヤーが増え
ることが必要で、結果としてまちづくりが
活発に、発展していくことが重要だから。(3
票)

トップ・委員が替わっても継続審議・話し合
える状況ができる条例
地域策定委員会で感じた事。委員が出て来
なくなり、より良いものも作れなくなっ
ている。(3票)

POP!!で、色々な世代の人が街をつくり
たいと思うような条例
特に若い世代は魅力のあるものに興味を向
ける。いかに面白そうと思わせるかが重要。
(3票)

様々な市民が思いを実現できる条例
男女を問わず、様々な世代、職業、役職の
人たちが考える理想のまちの実現に向けて
参画しやすくなっている条例。(2票)

地域づくりの主役となる自治組織の立場が明
確になる条例であって欲しい
現場で取り組んでいる者としてこのまま進
んでいっても取り組む人が無くなる可能性
がある。(2票)

市民・地域が取り組みやすい行政と一体とな
る条例
地域の主体と自らの行動が行政と共有でき
る(2票)

20年間改正無用な原理・原則を定めたスマ
ートな条例
カンタンに変わるものでは困りますから。
(1票)

市民を自由にし、議会をブラッシュアップさ
せる条例
自治協こそ自治。地区センターこそ自治対
象。(1票)

まちづくりの主体となる市民・企業・行政が
真に対等になれる条例
協働らしいではダメ。対等...まちを変えら
れる実感。

市民(団体等)と対等なパートナーでいれる
条例。
行政側が協働に対して良いイメージを持っ
ていない。